

ものづくり補助金を活用した製造工程の革新により新商品の生産能力を改善

会社名 株式会社 茜庵（徳島県）

昭和55年、徳島県徳島市に設立した和菓子の製造小売会社。「徳島の、そして四国のよいものをお菓子里に」をコンセプトに、地元のすだち、山桃、阿波三盆糖など、四国地産の素材を活かした新規性ある和菓子の企画・製造をおこなっている。

1. 相談のきっかけ

新商品として開発した、ゆず風味ゼリーの「ゆうたま」は、和菓子業界が縮小傾向にある中、贈答品の簡素化・経済志向、簡便な個包装需要・安心健康志向といった市場動向を踏まえ創られ、観光庁主催「世界にも適用する究極のお土産」でシルバーメダル賞を受賞するなど大きな成果を得た。そうした中、「ゆうたま」をさらに拡販させる方法に悩みを抱えていた事業者は、新商品開発時にデザイン支援を受けたデザイナーから当拠点を紹介され来訪、具体的方策についての相談に至った。

2. 課題整理・分析

- ・拡販を狙う「ゆうたま」は、手作業メインの工程で製造されており、作業効率が低く大量生産・大量一括納品体制が未構築な状況であった。そのため、品質管理体制を維持しつつ、作業効率を刷新し生産キャパシティを拡充する必要があった。
- ・また、消費者のニーズである賞味期限の長期化というテーマに対しても何らかの手を打つ必要があった。
- ・なお、こうした課題に対しては、可能な限りコストを抑えて対応する必要があった。

3. 解決策の提案

- ◆新設備導入を提案
 - ・新たに球体形成機を設計・導入することで、生産効率を改善させ大量生産を行うことを提案。
 - ・また、球体菓子の乾燥に適した循環型除湿乾燥設備を整えることで、賞味期限の長期化を目指すことを提案。
- ◆設備導入の資金確保に向けた施策活用を提案
 - ・設備導入に向け資金負担を軽減すべく、ものづくり補助金（平成26年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」）にチャレンジすることを提案。
 - ・なお公募締め切りまでは短納期であったため、書類作成に当たっても、申請上留意すべき点を的確に助言。

4. 成果

- ・事業者は、制度を紹介した際、ものづくり補助金に「ぜひともチャレンジしたい」との強い気持ちを持っていたため、拠点から「頑張ってください」と勇気づけながら、二人三脚の勢いで、申請書の作成支援を何度も実施。
- ・その結果、新商品の魅力や新規性が十分に表現された企画が完成し、ものづくり補助金の採択に至った。
- ・現在は新商品を活用した新事業を開始し、「ゆうたま」の新たな魅力づくりに邁進中である。今後さらなる新商品の販路拡大が期待される。

